

大学資源の活用が充実度 に与える影響

～キャンパスライフ満喫手段の話～

長沢潤

梶間直人

今原光貴

宮川大希

小野愛実

問題意識

サークル活動には満足しているけど、それ以外はあんまり…

サークルには所属していないよ。けど、キャンパスライフは最高。

大学微妙だな…

面白い！！



問題意識



何が影響を与えて
いるのだろうか？



研究方法

「**学生生活の充実度に影響を与える要因**」を
幾つか取り上げて研究。

- ・ **順序ロジットモデルをRで推定。**
- ・ **目的変数 (Y) を充実度とする。**
- ・ **説明変数 (x_i) ($i=1.2.3\cdots$) に充実度に影響を与えていると予想する要因。**

研究方法

〈学生生活の充実度に影響を与えていると予想する要因〉

- 性別
- 現在の大学は第一志望か。
- 居住形態。
- クラブ、サークル活動をする時間。
- 所属大学や学部、学科、コースは、就職や未来に希望を与えてくれるか。
など…



利用データについて

調査名：大学生のキャリア意識調査、2013

調査実施者：公益財団法人 電通育英会

(株) マクロミル

(株) 日本ディリー通信社

**利用許可：東京大学社会科学研究所付属社会調査
データアーカイブ研究センター**

使用データについて

サンプルサイズ：大学1年生 835人
大学3年生 707人
合計：1542人（男子888人 女子654人）

調査時点：2013年 11月8日～14日

仮説

3年生の方が大学資源をより多く利用しているため、1年生よりも充実している。

クラブ・サークル活動時間が長いほど充実する。

実家暮らしよりも、ひとり暮らしの方が充実する。

分析結果

変数	推定値	P-value
・ 学年	-0.0407	0.698
・ 性別	-0.0314	0.757
・ 現在の大学は第一志望か	0.0883	0.379
・ 居住形態	0.353	0.001***
・ 授業や実験に参加する時間	0.0106	0.036*
・ クラブ・サークル活動をする時間	0.0691	2.91e-14***
・ アルバイトをする時間	0.00782	0.153
・ 専門分野で研究するための基礎的な学力と技術	0.267	0.005**
・ 将来の職業に専門的知識を生かす応用力	0.244	0.005**
・ 大学で就職に関する相談を個別にしたことがあるか	0.196	0.007**
・ 就職に備えた資格の必要性	-0.0870	0.058.
・ 所属大学や学部・学科・コースは就職や未来に希望を与えてくれるか	0.580	<2e-16***

分析結果のまとめ

変数	推定値	P-value
・ 居住形態	0.353	0.001***
・ 授業や実験に参加する時間	0.0106	0.036*
・ クラブ・サークル活動をする時間	0.0691	2.91e-14***
・ 専門分野で研究するための基礎的な学力と技術	0.267	0.005**
・ 将来の職業に専門的知識を生かす応用力	0.244	0.005**
・ 大学で就職に関する相談を個別にしたことがあるか	0.196	0.007**
・ 所属大学や学部・学科・コースは就職や未来に希望を与えてくれるか	0.580	<2e-16***

Signif.codes

0~0.1% '***' 0.1%~1% '**' 1%~5% '*' 5%~10% '.'

考察

- 実家暮らしの方が高い。
- 授業に参加している方が高い。
- クラブ・サークルの参加時間が長い方が充実度が高い。
- 大学に進路等の相談をしていた方が充実度が高い。

提言

- 授業にしっかり参加をすること。
- サークルにも積極的に参加すべき。
- 大学は希望を与えてくれるからこそ、個別相談等を利用すべき。



ご静聴ありがとうございました。